

## 211.A病院におけるrapid response system: RRS の効果の検討

このたび当院では、上記の医学系研究を、国立病院機構熊本医療センター倫理委員会の承認・許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者様へ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者様への新たな負担は一切ありません。また患者様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者様の旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいませようお願いいたします。

### 研究組織

国立病院機構熊本医療センター

### 本研究の目的、方法 目的:

当院では、2022年4月から迅速対応システム(Rapid response system :RRS)を開始し、2022年7月から早期警戒スコア(National Early Warning Score :NEWS)と病棟からのコールの二重に起動基準を導入し、24時間365日の体制で迅速対応チーム(Rapid response team :RRT)が状態変化した患者様に対応しています。すでに先行研究により、RRSの効果として心停止の減少が発表されていますが、当院において、どのような効果が得られているか解析することで、今後のRRSの課題を明確化することができ、新たな知見を得ることができると考えています。

方法:入院患者のNEWS及びバイタルサインの状況,RRT介入件数の推移,院内緊急コール(ドクターハート)の発生数,院内緊急コール対応症例の6-8時間前のNEWS,院内急変によりICUに入室した患者様のICU滞在日数と生存退院率をR version 4.3.1を使用し、それぞれの関連性について解析を行う予定です。解析に必要なデータは、すべて暗号化されたUSBメモリーで保存し、鍵のかかる医療安全管理室内の机の引き出し内で厳重に管理します。

### 研究責任者

所属 国立病院機構熊本医療センター 看護部長室 甲斐彰

### 問い合わせ先

本研究に関する質問や確認、研究協力の拒否は、下記へご連絡下さい。

氏名:甲斐 彰

連絡先

国立病院機構熊本医療センター 医療安全管理室

電話：096-353-6501 内線：5505

Mail:kai.akira.dn@mail.hosp.go.jp